

# 3級損害保険登録鑑定人

## 保険・一般常識 試験問題用紙

(2025年1月)

### 注意事項

1. 試験責任者の指示があるまで開かないでください。
2. 解答用紙は試験問題用紙の最初の頁に入っています。試験開始の合図があったら解答用紙があることを確認してください。解答用紙がない場合は直ちに申し出てください。
3. 解答用紙には受験番号、氏名、受験地を必ず記入してください。  
受験番号は6桁の数字を左の欄から順に正確に記入し、その数字と同じ箇所をマークしてください。記入漏れや間違った内容を記入・マークすると採点ができませんので、解答した内容はすべて無効（得点なし）となります。
4. 解答はすべて解答用紙に記入し、解答用紙のみ提出してください。問題用紙は持ち帰って結構です。また、解答を解答用紙以外に記入しても無効となります。
5. 解答は、解答用紙の該当する問題の解答欄をぬりつぶしてください。
6. 1つの問題に指定数を超えるマークをつけた場合、その問題は0点となります。
7. HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシルを使用してください。HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシル以外（万年筆、ボールペン、サインペン、色鉛筆等）は使用不可です。
8. 訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムで完全に消してください。消し方が不十分な場合には解答が正しく読み取れないことがあります。修正液等、プラスチック製消しゴム以外は使用不可です。
9. 解答用紙の読み取りは機械処理をしますので、折り曲げたり、汚したり、記入欄以外の余白および裏面には何も記入しないでください。
10. カンニング等の不正行為があったと認められた場合は、当該試験は不合格とし、原則としてその場で試験の中止と退室を指示され、それ以降の受験はできなくなります。
11. トイレや急な体調不良等を含め、一旦退席された場合の再入室はできませんので、ご注意ください。
12. 試験時間は正味50分です。
13. 試験問題の内容に関する質問は、いっさい受け付けません。
14. 試験時間中の私語は禁止します。
15. 資料等の使用はいっさい認められませんので、筆記用具、電卓以外はすべてしまってください。
16. 試験時間中は、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の通信機能・記憶機能を有する機器の使用は、時計として使用することを含めていっさい認められませんので、あらかじめ電源を切っておいてください。
17. 「受験票」および「写真が貼付されている公的本人確認書類」は机の上の見やすいところに置いてください。
18. 問題用紙、解答用紙の印刷に乱丁・落丁があれば申し出てください。

マークシート方式による正誤式または選択式の問題です。解答は解答用紙の該当するマークを塗りつぶしてください。

**【問題 1】**

次の 1～8 の記述は、火災保険の「物件の種類と判定」について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. 住宅に付属する自家用車専用車庫は、一般物件である。
2. 物の製造、加工を行う建物において作業人員が常時 50 人以上の場合は工場物件となるが、この作業人員には臨時雇いやアルバイトも含まれる。
3. 工場敷地内に所在し、倉庫業者の占有する保管貨物は、倉庫物件である。
4. 住宅物件の建物の構造級別の判定にあたり、一般建物の構造級別は、建物の防火上の性能の高い方からM構造、T構造、H構造と判定され、耐火建築物の共同住宅およびコンクリート造建物は、いずれもM構造と判定される。
5. 住宅建物内に家財以外の動産を一時的に収容する場合、住宅建物、家財および家財以外の動産はいずれも一般物件として取り扱う。
6. 寮、寄宿舎および下宿屋は、住宅物件である。
7. 工場物件（一般建物以外の建物）における改築中の建物の構造級別は、改築前の構造級別による。
8. 住宅物件において、屋根がコンクリート造である建物の屋上に設けられた屋上建物（本屋建物の屋上部分に本屋建物と主要構造部を異にして建築された建物）は、本屋建物とは別個の建物として取り扱うことができる。

## 【問題2】

Aさんは、店舗専用建物に保険金額3,000万円の店舗総合保険契約を締結していましたが、この建物から火災が発生し、同建物に2,500万円の損害を被るとともに、この火災の延焼により、隣家3世帯の住宅建物5棟のそれぞれ一部を焼失させてしまいました。

また、残存物の取片づけのために150万円を支出することになりました。

この場合に支払われる次の1～3の保険金について、下の選択肢から最も適切な金額をそれぞれ1つずつ選び、その記号を答えてください。

なお、火災発生時のこの建物の保険価額は5,000万円とします。また、算出した保険金の額に1万円未満の端数が生じた場合には、千円の位を四捨五入して万円単位で答えてください。

1. 支払われる損害保険金は、いくらになりますか。
2. 支払われる残存物取片づけ費用保険金は、いくらになりますか。
3. 支払われる失火見舞費用保険金は、いくらになりますか。

## 《選択肢》

ア. 0円	イ. 20万円	ウ. 40万円	エ. 60万円
オ. 100万円	カ. 150万円	キ. 200万円	ク. 500万円
ケ. 1,000万円	コ. 1,350万円	サ. 1,550万円	シ. 1,875万円
ス. 2,000万円	セ. 2,500万円	ソ. 3,000万円	タ. 5,000万円

**【問題3】**

次の1～4の記述は、住宅総合保険について述べたものです。( )内のアとイのうち、最も適切なものをそれぞれ1つずつ選び、その記号を答えてください。

1. この保険では、被保険者の運転する車両が保険の対象である建物に衝突し、その建物を破損させた場合、その損害は保険金支払いの(ア. 対象となる イ. 対象とはならない)。
2. この保険では、家財を保険の対象とする場合、被保険者と生計を共にする親族の所有する家財で、保険証券記載の建物に収容されているものは(ア. 特別の約定がない限り保険証券に明記されなくても イ. 保険証券に明記されていれば)保険の対象に含まれる。
3. この保険では、保険の対象である建物から発生した(ア. 爆発 イ. 落雷)の事故によって、第三者の所有物を滅失、損傷または汚損を与えたときに生じる見舞金の費用に対して、失火見舞費用保険金が支払われる。
4. この保険において、保険期間中に保険会社から追加の保険料を請求され、保険契約者がその支払いを怠った場合、保険会社は保険契約を解除できるが、既に保険金を支払っていたときは、保険会社は、その返還を請求することが(ア. できる イ. できない)。

**【問題4】**

次の1～4の記述は、「地震保険に関する法律」に基づく地震保険について述べたものです。( )内のアとイのうち、最も適切なものをそれぞれ1つ選び、その記号を答えてください。

1. この保険において、商品、営業用什器・備品その他これらに類する物は、保険の対象に(ア. 含まれる イ. 含まれない)。
2. この保険では、火災保険の契約時に地震保険を付帯しなかった場合、火災保険の契約期間の途中から付帯することが(ア. できる イ. できない)。
3. この保険において、同じ被災地域内で(ア. 72 イ. 96)時間以内に生じた2以上の地震は、これらを包括して1回の地震とみなす。
4. この保険では、建物が併用住宅の場合において、居住用部分とそれ以外の部分を分けないで、主契約である火災保険の規定に従い、それぞれ別個の建物として保険金額を定めたときは、(ア. 居住用部分およびそれ以外の部分 イ. 居住用部分のみ)がこの保険の対象となる。

## 【問題5】

Bさんは、自分の住居専用建物と同建物内収容の生活用動産（家財）を保険の対象として、住宅総合保険契約に「地震保険に関する法律」に基づく地震保険契約を付帯して締結していたところ、地震による火災でこの建物および生活用動産（家財）が損害を被りました。保険契約の内容および損害割合は次のとおりです。

この場合に支払われる次の1～3の保険金について、下の選択肢から最も適切な金額をそれぞれ1つずつ選び、その記号を答えてください。

なお、算出した保険金の額に1万円未満の端数が生じた場合には、千円の位を四捨五入して万円単位で答えてください。

## 〔保険契約の内容〕

	住宅総合保険		地震保険	
	建物	生活用動産（家財）	建物	生活用動産（家財）
保険金額	3,100万円	900万円	1,550万円	450万円

（注）地震発生時のこの建物および生活用動産（家財）の保険価額は、いずれも主契約である住宅総合保険契約の保険金額と同額とします。

## 〔損害の状況〕

	建物	生活用動産（家財）
損害割合	45%	50%

（注）建物の焼失床面積は考慮不要とし、建物の損害割合は、地震に起因した火災による地震保険における主要構造部の損害割合とします。

- 地震保険から建物の損害に対して支払われる保険金は、いくらになりますか。
- 地震保険から生活用動産（家財）の損害に対して支払われる保険金は、いくらになりますか。
- 主契約である住宅総合保険から建物および生活用動産（家財）の損害に対して支払われる地震火災費用保険金は、合計でいくらになりますか。

## 《選択肢》

ア. 0円	イ. 10万円	ウ. 35万円	エ. 50万円
オ. 65万円	カ. 80万円	キ. 100万円	ク. 135万円
ケ. 155万円	コ. 200万円	サ. 270万円	シ. 300万円
ス. 465万円	セ. 900万円	ソ. 930万円	タ. 1,395万円

**【問題6】**

次の1～4の記述は、「損害保険の保険金支払に関するガイドライン」について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ教えてください。

1. 自動車保険に関し、損害保険会社は被害者に対して契約者等より確認している事故状況・事故原因等と、被害者が認識している事故状況・事故原因等に相違がないかどうか、丁寧に確認を行うとともに、契約者等および被害者の双方の認識に相違がある場合は、事故現場の現地調査を行うなど、必要な確認調査を行う。
2. 高齢者をはじめ請求者に認知判断能力の低下が見られるような場合には、保険金支払対応において、丁寧かつ分かりやすい説明を行う等、十分な配慮を行うように努める。
3. 損害保険会社は、保険商品の新規開発や改定等において、その検討段階から関連部門で緊密な連携を図るとともに、約款解釈やシステム対応あるいは支払事務等必要な事項について、遺漏ないよう検討を行い、費用保険金等を除き適切な保険金支払を行う態勢を整備する必要がある。
4. 損害保険会社は、保険金をお支払いできない旨の通知に時間を要する場合、その理由等について説明する必要はない。

**【問題7】**

次の1～6の記述は、新種保険について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. 賠償責任保険（普通保険約款）において、被保険者と生計を共にする同居の親族に対する損害賠償責任は、保険金支払いの対象とならない。
2. 動産総合保険において、運送中の危険のみを対象とする動産は、この保険の対象となる。
3. 機械保険において、機械設備・装置の保守点検不良による事故で保険の対象に物的損害が生じた場合、その損害は保険金支払いの対象となる。
4. 組立保険において、工事現場における工事用材料は保険の対象に含まれる。
5. 建設工事保険において、保険の対象となる工事は、住宅・ビル等の建物の建築工事（増築・改築工事を除く）となっている。
6. 土木工事保険において、一般的に、火災、落雷、破裂・爆発による損害には控除額を設ける。

**【問題 8】**

次の1～4の記述は、「自動車保険の対物賠償保険」について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. この保険では、婚姻の届出をしていないが記名被保険者と事実上婚姻関係と同様の事情にある者が被保険自動車を使用または管理している場合、当該者は被保険者となる。
2. この保険において、他の保険契約等により優先して保険金が支払われている場合、保険会社は、損害の額からそれらの額の合計額を差し引かずに保険金を支払う。
3. この保険において、争訟費用や示談交渉費用は、支払保険金とは別に保険金額の枠外で全額支払われる。
4. この保険では、「対物賠償保険の示談交渉に関する特約」が付帯されていても、1回の対物事故につき、被保険者が負担する法律上の損害賠償責任の総額が保険証券記載の保険金額を明らかに超える場合、保険会社は示談交渉を行うことができない。

**【問題9】**

次の1～4の記述は、保険価額の評価について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. 評価方法の一つである定額法は、時の経過とともに減価が平均的に発生するという考え方で、交換価値よりも主に使用価値に重点を置く継続使用財の評価に適した手法である。
2. 原価方式（原価法）により建物の再調達価額を算出する場合で、新築時における建築費が判明していないときは、当該建物と同種または同等の材料を使用している事例を探し、その建物の新築費単価をもとに算出する方法がある。
3. 一般商品における売残品、半端品、棚ざらし品、流行遅れの商品などのいわゆる「デッドストック」は、その商品の本来の取引価格に基づき保険価額を算定する。
4. 営業用什器・備品の再調達価額の評価にあたっては、資産台帳からその数量、取得価格を把握のうえ、償却資産対象外の少額資産および消耗品の在高を除いて把握する。

**【問題 10】**

次の1～8の記述は、損害保険契約に関する法律知識について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. 超過保険において、保険の目的物の価額（保険価額）を超える超過部分については、被保険利益がないため、保険金は支払われない。
2. 保険者が通知義務違反により損害保険契約を解除した場合、当該損害保険契約を締結した時から契約が解除された時までに発生した保険事故による損害はてん補されない。
3. 「金銭に見積もることができない利益」である精神的利益は、被保険利益として認められない。
4. 保険法の片面的強行規定と異なる保険約款の規定は、保険契約者等に有利であるか不利であるかを問わず無効となる。
5. 通知義務違反による損害保険契約の解除権は、保険者が解除の原因があることを知ったときから1か月間行使しないとき、または損害保険契約の締結時から10年を経過したとき消滅する。
6. 火災保険契約では、保険事故が発生しないときであっても、消火、避難その他の消防活動のために必要な処置によって保険の目的物に生じた損害はてん補される。
7. 保険契約は、保険契約者が保険者の作成した保険約款を包括的に承認して保険契約を締結するか否かを決定する付合契約である。
8. 損害保険契約の締結後に危険が著しく減少したときは、保険契約者は、保険者に対して未経過期間について危険の減少に対応する保険料の減額を請求することができる。

## 【問題 11】

次の1～4の記述は、損害賠償に関する法律知識について述べたものです。□ にあてはまる最も適切なものを下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その記号を答えてください。

1. ある行為が発生した場合、その行為が「不法行為責任」と「債務不履行責任」の両方に該当するケースでは、判例によると、被害者は、加害者に対して、□ **1** 主張して損害賠償を請求することができる。

《選択肢》

- ア. どちらの責任でも自由に  
イ. 不法行為責任のみ  
ウ. 債務不履行責任のみ

2. 特殊の不法行為には、免責の規定が存在しないものとして □ **2** がある。

《選択肢》

- ア. 使用者等の責任  
イ. 製造物責任  
ウ. 公権力の行使に基づく不法行為責任

3. □ **3** は、不法行為による財産的損害に含まれない。

《選択肢》

- ア. 身体障害                      イ. 精神的損害                      ウ. 賃借権の侵害

4. 民法において、期限の定めのない債務は、□ **4** 履行遅滞となるとされている。

《選択肢》

- ア. 債務者が期限の到来を知った時から  
イ. 履行の請求を受けた時から  
ウ. 確定期限までに履行がなされないことで

**【問題 12】**

次の1～4の記述は、個人情報保護法について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. この法律において、個人情報取扱事業者は、個人データの漏えいが発生した際、いかなる場合でも本人に対して漏えいが生じた旨を通知しなければならない。
2. この法律において、個人情報取扱事業者は、個人情報を取得した際、いかなる場合でも速やかに利用目的を本人に通知、または公表しなければならない。
3. この法律において、個人情報保護委員会は、個人情報取扱事業者が義務に関する規定に違反した場合で、個人の権利利益を保護するために必要であると認めるときは、個人情報取扱事業者に対し、違反行為の中止等を勧告することができる。
4. この法律において、人の生命、身体または財産の保護のために必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難な状況であるときは、あらかじめ本人の同意を得ることなく個人データを第三者に提供することができる。

**【問題 13】**

次の1～4の記述は、リスクマネジメントについて述べたものです。( )内のアとイのうち、最も適切なものをそれぞれ1つずつ選び、その記号を答えてください。

1. 基本的に分散が可能なリスクが保険の対象リスクであるが、(ア. 台風 イ. 火災) リスクは、分散が困難なリスクである。
2. リスクの回避・リスクの分散は、(ア. リスク・コントロール イ. リスク・ファイナンス) に分類される。
3. 保険を付保した場合の保険料は、リスク・コストにおけるリスクの(ア. 移転 イ. 管理) 費用にあたる。
4. 河川の水量の増加によって堤防が決壊し、水が堤内地に流出することを(ア. 外水氾濫 イ. 内水氾濫) という。

## 【問題 14】

次の1～4の取引について、下の勘定科目・金額を用いて仕訳を行い、勘定科目・金額は下の選択肢から最も適切なものをそれぞれ1つずつ選び、その記号を答えてください。

なお、勘定科目・金額の選択肢は、必要に応じて何度使用しても構いません。

1. 商品を¥250,000で販売し、代金のうち¥200,000は現金で受け取り、残金は掛けとした。
2. 家賃1か月分¥80,000を小切手を振り出して支払った。
3. 次の商品を仕入れ、代金のうち¥500,000は小切手を振り出して支払い、残額は翌月払いとした。  
4Kテレビ 5台 @¥100,000      ブルーレイレコーダー 3台 @¥80,000
4. C商店に売り渡した商品に一部品違いがあり、¥25,000の値引きをし、その金額は売掛金から差し引くこととした。

## 《勘定科目 選択肢》

ア. 現金	イ. 買掛金	ウ. 資本金	エ. 当座預金	オ. 借入金
カ. 売掛金	キ. 受取家賃	ク. 支払家賃	ケ. 売上	コ. 通信費
サ. 貸付金	シ. 水道光熱費	ス. 商品	セ. 商品売買益	ソ. 受取利息
タ. 備品				

## 《金額 選択肢》

a. 5,000円	b. 10,000円	c. 15,000円	d. 25,000円
e. 50,000円	f. 80,000円	g. 100,000円	h. 150,000円
i. 160,000円	j. 200,000円	k. 240,000円	l. 250,000円
m. 300,000円	n. 400,000円	o. 500,000円	p. 740,000円

